

# あーら

MINI 〈創刊号〉

1977年1月発行 ¥150 円60

## 今月のなかみ

〈創る女〉 沖縄・渡久地真理子さん（撮影・松本路子）	1
〈快談・怪談〉 '77マンリブ・ウーマンリブ	2
〈これだけは言いたい〉 消えた生活館 野本三吉	6
〈これから・その後〉 ポスト1313 女性史資料館	7
〈伝える！〉 お金を出しても伝えたいコト	8
〈訴える〉 初任給格差とたたかう 高橋悦子	10
〈読む〉 風の声が聞こえる・川のない街で・愛と激動	10
〈聞く〉 抱いて抱かれたがる日本の男 イアン・ブルマ	11
〈実務シリーズ〉 やさしい編集1 セガわ・ともこ	12
〈切抜きから〉 七六年十二月一日〜七七年一月五日	13
〈女のつどい・女の講座〉 一月十五日〜二月二十日	16
〈お知らせ〉 “あーら可能性教室” 第二期は三月スタート	16

〈あーら〉は会員の拠出した基金と年会費および雑誌〈あーら〉〈あーらミニ〉の売上で運営されており、どの企業、どの政党、どの団体からも1円の援助も受けていません。年会費は婦人問題総合情報誌〈あーら〉(A5 180ページ)ともで4,000円。〈あーらミニ〉のみ購売の場合は2,000円(いずれも送料とも)です。会費・誌代は振替でどうぞ。

はじめまして…… 〈あーらミニ〉です  
ミニです。だから舌たらずです。でも、話したいこと・言いたいことはいっぱいです。偏見も独断もあるでしょうが、少なくとも正直に話していきたい。あなたも話しかけてください。訴えてください。マスコミで言えないことも、ここは話せるひろば。  
〈あーらミニ〉は、あなたがつくる雑誌です。



〈創る女①〉沖縄で陶芸にうちこむ  
琉球大学在学中、焼き物に魅せられ、現在修業中の渡久地真理子さん（25才）  
土をこねる作業から自分ではじめ、土のかたまりをひと息で型に仕上げる。体中の力をつかった気のぬけない作業が魅力という。  
寡黙だがしんの強い沖縄女性だ。 撮影・文 松本路子

# '77 マンリブ・ウーマンリブ



## 性解放だけで人間解放になるか

司会 〈あごろミニ〉の発刊にあたって、七七年のマンリブ、ウーマンリブということで、フレッシュな方々の意見を聞かせて頂きたい。まず、簡単な自己紹介からお願いします。

楽 リブに興味を持ったのは、会社に勤めだして、周囲が不必要に女と男に優劣をつけてしまったのが以前と比較にならなかつたからです。フェミニストの人たちと出あって、初めて自分を発見できたような気がする。

麻川 田中美津さんの運動に共鳴し、彼女のグループの人たちにひかれて参加した。美津さんはストリート（注、同性愛ではない）だし、自分はレズビアンということで違和感を持った。最近、レズビアンと小さな集まりを持って自分たちの輪が広がっていくような活動をしています。

おさかべ 今までのウーマンリブには性の問題が出てこなかった。それが不満だった。自分は性の問題があくまで中心です。家事労働も子育てのこともよくわかるが、それだけでは息がつまりそうな気がする。

永岡 六九年にアメリカでおこったリブ運動に触発された。人種差別の問題と同時に非常に新鮮でショックを受けた。七一年のリブ集会にも参加しようとしたが男だからということで追い出された（笑）。女性解放といっても男女間のことだから、男として好奇心があった。その後渡英したとき女性が生き生きしている

のをまのあたりにみた。そこで出会った女性もウーマンリブに参加している女性が多かつたし、つれあい（英国人）もあるリブグループの創立メンバーの一人。それで自然に関心も深くなつていった。

林 戦前の女性差別の体験があつた。戦後は民主主義になり女も自立しなくては、という使命感に燃えた。女の主張のためにマスコミの仕事をしたんだけど、必死で女である部分を隠して男に近づこうとしたのね。今から考えると間違っているけれど。結局時間に忙殺された企業の歯車になり、自分を見失つてしまつた。それで性別役割にあれだけ反対していたのに職業を捨てて子供をとつた。子供は自分のもの、というような考えがあつて。それから二十年は井の中の蛙のような生活をしてきて、ベティ・フリダンの「新しい女性の創造」を読んで、くぜんとした。マンリブ、ウーマンリブ、子供リブまで含めて、みんなが自由にやれる社会を作つてゆきたい。それで三十代後半の主婦を対象にした雑誌（わいふ）を作っています。

司会 いま世間でリブというと百人中九十人までが「中ビ連」を想像するでしょう。あの運動と我々がやってきたこと、やろうとしていることはあまりにもちがいます。その辺を踏まえてもっと話を発展させていきたいのだけれど。

おさかべ やはりセックスが一番重要（笑）。

司会 私が言ったのは社会の固定観念を

麻川（おさかべに）恋人いる？

別が出てくるのは当然です。性差別を考

て個性や自由が一定のワクで止まって癡

え。

おさかべ コミュニケーションについて

けど、相手によって欲求の強さがちがうわけ。ある程度かみあう点でやってあとは知りませんというかんじ……。

麻川 あなたの言ってるのよくわからな  
いんだけど、セックスって、ただするだけ  
じゃなくてもいろいろなかたちでや  
れると思うの。欲求のちがいが相手は大  
切に思う気持ちで解消できるのじゃない。  
おさかべ たしかにそうだな。

永岡 まず、イヤというときは絶対強制  
しない。お互いの選択を尊重しあう。

林 ホモセクショナルっていうのは性に対  
する固定観念を破るためにできたの？

楽 今の社会は男らしく女らしくという  
ふうで一人の人間として見てくれない。

私は女の中の一人ではないから人間と  
しての、男とのコミュニケーションはと  
てもむずかしい。女と一緒に自分が抑

圧されないから生き生きしてられる。  
男とはどうしても縦の関係になるから本

当のコミュニケーションはできない。  
林 経済的なことがカラマなくてもそう

なるわけ？  
楽 ええ。

永岡 でも日常の中でいいコミュニケー  
ションができないということは、どちら

かが差別される立場にあって言いたいこ  
とが言えないということでしょう。女が

一生仕事を持って自立してないから差  
別される。その背景は経済問題。セック

スといっても女性が経済的にも社会的に  
も差別されているんだというところまで

掘り下げていかなければ本当のコミュニ  
ケーションはできない。体制の変革をし

なくては。だからぼくらはロッキードも  
物価の問題もやる。

## 相手を理解し、自分を素直に出したい

司会 女性解放ばかりやっていてもしよ  
うがないんじゃないかというのは長年の  
議論なわけだけども。

永岡 しょうがないんじゃないかと、女性  
解放なり性の解放を考えていけばいいほ

ど、社会構造のあらゆる面で差別にぶ  
つかり、全面戦争をしなければならな

くなる。  
おさかべ そこまでつきつめていくと

ね、結局権力闘争ということになる。そ  
うすると社会構造が変わっても男女差別

は残る。リブのいいところはそこがちゃ  
んとしているということではないか。

永岡 権力闘争というのは男だけがやる  
のではなくて男女を問わず、人間が加わ

るということ。三木から福田が変わると  
いうことではない。

司会 権力者の交替ということでもなく  
自分が権力を握るということでもない。

永岡 表現の自由がほしい。男女の区別  
ということではなしに人間を打ち出して

いくと必ず敵対するものが出てくる。打  
ち出せば打ち出すほど男中心の社会、経

済問題にゆきあたる。女性解放が単独に  
存在しているのはおかしい。

て、見つかるかもしれないというかんじ  
しかない。

司会 個人的レベルも大切ですね。

永岡 僕の場合も個人的です。日常生活  
も楽しく大事にし、一緒にやっている人

との関係もハッピーでやりたいわけ。僕  
たちのグループが小さくてもそこから学

べることもあるし、一人ではできないこ  
とも一〇人になればできる。いままでの

政治闘争といえば男が主体になって決定  
してきた。そこに欠落していたものは女

からの発想ね。いくら左翼が反体制をい  
っても基本的に被差別者の女性の発想が

入る。とすればやはり女性と共に闘って  
いくということではないか。闘うという

言葉でなくても日常的にコッコツやって  
いくこと。

司会 生産者(男)対消費者(女)とい  
うようにわかるでしょう。あれも同じ

ことね。男も女も作り、共に消費する  
という発想がくみこまれないと。だから亭

主の給料で養われながら消費者運動をや  
っているというのもナンセンス。

永岡 男も女も、かりにちがったことを  
やっていても持っているものは同じ。た

とえば男も女もおいしいものを食べた  
い、そしたらお互いにおしえあう。そし

て自立をめざして徹底的に努力してい  
かなければならない。ハンパな人間であ

るとそこにつけこまれてしっかりしてい  
ない半分を体制側に管理されてしまう。そ

ういうスキを与えないために男も料理で  
も何でもする、女も経済的自立をする  
というのを日常的な点でコッコツ努力し

ていくべきだ。  
楽 私の知ってるアメリカ人で、男が女

なしでどうしたら自立した生活をしてい  
けるか、男同士のやさしさや理解を養

るかということ、男だけのコミュニ  
ンを作ってやっている人がいるの。ある人

にそれを言ったら、お前それではゲイに  
なれということではないか、と言われた

けれど(笑)、可能性のある生き方だと  
思います。

永岡 もう一つはものを育てるというこ  
とをキチンとやっていきたい。動物とか

植物でもいい、育ててみる。こちらが愛  
情をかければ草花はきれいに咲くし生き

生きとのびる。鳥にただえさをやるだけ  
ではなく言葉も知りたい。僕はその鳥を

愛しているから彼のことをもっと知りた  
い。なんでそこでギョーギョーというの

か知りたいわけですか。相手を理解したい  
ということ。相手に対する忍耐とやさしさ

が要求される。  
司会 そういう永岡さんの態度は潜在的

にあったの。それともリブとのかかわ  
りで養われたの。

永岡 リブとのかかわりが大きいと思  
う。僕と彼女との関係の中で、彼女は例

えば植物がとても好きだ、僕も好きだ  
けど、まあいいかげんなところもある。そ

れで枯れると悲しい。なぜ枯れないよう  
に努力しないか、自分たちの環境につ

いて同じようなことをいろいろな状況をと  
らえて言う。

林 あなたが育った環境の影響はない？  
永岡 幼い頃は父はあまりみなかった。

だから女性といえは母の顔がチラチラ  
する。なぜあんなに苦勞し耐えなければ

いけないのかと思いつけてきた。  
林 それが一番大きいことだと思う。子



供に与える親の生き方が大切よね。永岡さんのような人がふえたらマンリブもウーマンリブも必要じゃなくなる。

永岡 人間だからいろいろなものがある。マチャクチャ入ってると思う。今ね、男に對するイラダチが多いですよ。人間として男にハラがたつことが多い。

林 私はいままでマンリブ、ウーマンリブというものが既成の一夫一婦制にとらわれない人間としての主体的な生き方をしていることの一つのあらわれだと思ってきたの。マンリブもいままで男が妻子を養わなければならないという気の毒な状況を解放するために女が主体的に生きるしかないというふうにとらえられてきた。事実、いまの社会の男の生き方は気の毒だと思う。女は養われていて、そのことで男に對する愛情が消滅しちゃう。おさかべ 話がちがうけど、例えば僕のつきあっている女がほかの男とつきあうと、男同士が反目しあう。そんなことを僕自身が克服しなければならぬ。そういうものを変えていかないとほんとうの男同士の出会い——信頼関係——などないと思う。

林 運動というものの大もとが見えなくなってしまう。女らしさということでも大もととは見えなくなってしまうってそれだ

けが道徳として残る。生まれたときから女はピンク、男はブルーというように。だから大もとが問題。

おさかべ 男の中にも女らしさはいっぱいある。性的なものは成長していくのだから、お互いの中にある異性の部分をもっとみつめていったら男は男を好きになるし女は女を好きになる。それが自然だ。

司会 楽さん、リブには渡米する以前から興味があったの。リブを通して自分が非常に変わったというようなことがある？

楽 私は育ってきた過程で自分が劣っていると思いたくなく、ひどくつばってきただ。そして自分を疎外し切捨ててきたものがあることに気がついた。自分もずっと素直になって、どんな体制の中でも自分をもっと努力して自分自身を出していつてもっと輝けるのではないかと。

司会 魅力的な人間になりたい。

楽 自分を素直に出し、自分をすばらしいと思えること。自分がもっと束縛のない人間でありたいし、いい人間関係を作っていきたい。自分がスナナリ変わる女性との関係の中で可能性を信じますね。

## 男から男たちへも語りかけよう

葉をえらぶ、しゃべる戦術を変えていく。感動する男もいる。

司会 その例を話してよ(笑)。

永岡 例えばけんかして奥さんが出ていった。大学生の男の子と二人で食事を作

ったこともないので困っている。なぜ奥さんを迎えにいかないか、それは男のメンにかかわるといふ。そういう女々しいことはできないという。その辺を自分が困っているという事実とみあわせてついでにいった。同時になぜ出ていったかという話も話した。僕が男だから話せるし聞いてくれる、ということがあった。ウーマンリブの人たちがどんなに話してもわからなかったのにわかりかけてきた。結局奥さんは帰ってこなかったけど……(笑)。

司会 それは永岡さんの人間に對する愛情でしようね。愛情をもって語りかけていく。結局、マンリブ、ウーマンリブが求めているものは、やさしさであって……。

永岡 それと怒りというかいらだちというか。なんでこんなことがわからないのか、というふうな。

司会 ウーマンリブという男いじめのようなイメージがあるけれど、リブの女は本質的に男にやさしい。

林 私はウーマンリブ・イコール・マンリブだと思うんだけど。

司会 そうだと思う。あらゆる局面でのリベレーションだと思う。

麻川 言葉をつきつめていけばそういうことになるけど、私はマンリブについては、まあ、見てみましようというかんじ。

おさかべ 仮にマンリブが広がったとしても、男女の利害の対立はあると思う。どこかで甘いしるを吸っているのがあるはず。だから女の人が立ち上がらなければ。

永岡 僕も過渡的な意味で権力の逆転がおこる必要があると思っている。

楽 ものわりのいい男がふえることがマンリブで、ものわりのいい女がふえることがウーマンリブ。つまりものわりのいい人間がふえることが必要。今は人間として存在できない時代だから。

永岡 だからつきつめていえば女が一度国家権力を奪取しなければ男にはわからないのではないかと思ったりもする(笑)。

麻川 権力なんていらぬわよ。

司会 足をほんとうに踏まれたものでなければその痛みはわからない。ものわりの程度や頭でわかるということではなくて、立場を一度逆転させることが必要というこでしよう。

永岡 僕が言っているのは男が持っている権力と同じものではなくちがったシステムを作ればいいということ。

麻川 私は権力というものはイメージできない。私は男を選択しない。男に對してやさしさを持たない、ということ。女にしか向いていかない。だから支配したいとも思わない。関係がない。

司会 これからだのようにしたらもっと大衆的な基盤が作っていけるか、ということを通して終わりにしたい。

永岡 世界的にリブの弱点は教育のある中産階級の女たちの運動だということ。ぼくは暴力亭主はほんとうに命も抹殺されかかっている人たちの問題に関心をずっと持ってきた。そのようなギリギリの苛酷な状態で生きている人たちとどのようになりコミュニケーションできるか。そういう人たちと通じあう言葉を持っていかなければ。

ればならない。主婦とも話していく。もう一つは、お互い同士を知らなすぎ

る。大会や集会があってもその場だけで終わって点と点でしかない。だから連絡係をもうける。日本でそうすると連絡係がエキスパートになってそこに権力が集中してしまう傾向がある。そこを変えなければ。

永岡 それはとても大切なことね。永岡 もし主婦が子供がいて出られないのだったらずねていけばいい。欧米のコンシャスネス・レイジングのように、洗いざらいぶちまけるといいうのも大切だけれど、出てこれない人のところを訪れていったらどうか。暴力亭主のことをやっつけていくぞとしたのは、全くお互いを知らない。はみだしているものは極端にはみだしているのに。

それに日本はマジメすぎる。外国では

大会などがあるとヒッチハイクでもして行く。そして知らない人のところでもバ

ーッと泊まる。そういうバイタリティ、したたかさがほしい。

司会 楽しさということかな。こんど新宿リブセンターの人がバンドを作るとい

うので楽しみにしている。

永岡 そうですね。楽しくやりたい。

司会 七七年は、運動というものに対する固定観念から変えたいわね。運動という

と、ウーモンリブには硬派の発想があっ

て男の論理がみごとに投影されている。例えば話せない人には、あんなうまく話

せないわという心理的屈折があって、そ

れがリーダーをつくり、間接的な差別に

つながる。

林 私は自分の二十数年の主婦生活を通して、体験的にいわれる主婦と呼ばれ自

認する女にたまらぬ嫌悪感を抱いていた

の。それが昨年から主婦の投稿誌を編集

しはじめたのをきっかけとして大きく変わってきたようなのよ。結婚し子を産み

育てるのに疑いを持たぬように見える

人、良妻賢母意識に自縛自縛されている

感のある人も、みんな奥の見えない部分

で、とても根深いイタミを抱いている

ってことを痛切に感じ始めたの。だから

今年はずっといろんな人々とそのイタミ

を共にして連帯し、伝統的に植えつけ

られた「主婦意識」からフリーになりたい

と思っているの。

おさかべ 僕はあんまり運動とか理念な

ど持たないで自分の思っていることを吐

きだしていけばよい。それが原則。

司会 ゾルレン（こうあるべきだ）があ

ってザイン（こうある）がない場合が多

すぎたものね。

永岡 しかし僕はやっぱり理念がないと

ダメだと思ふ。おし流されてしまう。

麻川 しかしそれはそのつど見出し

いくものではないの。

司会 一人一人の立っている場がはつき

りしていれば、それが自分の理念になる。

永岡 けれどもそれを伝えていかなければ

ならない。行動として。そばにいる人

には見えるけれども見えない人にも言葉

で伝えていかなければならないのではな

いか。

一同（うなずく）

司会 ではまた時々集まって話し合いま

しょう。楽しくやりましょう。

〈これだけは言いたい〉

# 消えた生活館

## 野本三吉

ぼくが寿にやって来てから五年目の冬がやって来た。資本主義の安全弁として、けっしてな

くなることのない「日雇」「臨時工」「パート」

などで、その日その日を生計せねばならない

人々にとって、仕事のなくなる冬場は、文字通り

「死の季節」となる。しかも、三年前から深刻

化した慢性的不況は、仕事のない冬場の状況を

日常的なものにすらしてしまつたのである。

簡易宿泊所のたち並ぶ寿地区一帯では、今では

は少なくなったといわれる結核が増える一方で

ある。非衛生のドヤの一室を通じて感染してゆ

に、これも拡大する一方で、保健所でもらつて

きたシミチオンという粉末も、肌につれたり吸

つてはいけないという危険なものだ。その粉末

を、部屋のすみや布団にまいてやりながら、繁

栄をほこる日本の資本主義とは何かと考えてし

まう。

のである。市の建物である寿生活館に日雇労働

者が寝泊りし、炊き出しをやっている（不法占

拠）という理由で、生活館を休館にし、一切の

対策を停止してしまつたのである。職員有志

五名で、シャッターのおりた二階の廊下で、独

自に相談をつづけているのだが、全く予算もな

く、電話一本もない中で相談は、日雇労働者

だけでなく、日雇労働者の立場にたつて相談し

# これから・その後

## ●四年目に入るポスト1313 「労働問題 駆け込み寺」

日産自動車の女子定年差別裁判に端を発して、有職婦人クラブを中心に、各婦人団体が呼びかけた「駆け込み寺」構想が解消したのは、たしか「ポスト1313」が契機だった。婦人少年局の中に、本格的なものができると、運動の目的はこれで達成した——というのが当時のアビールだったように記憶している。あれから三年、「ポスト1313」は、どのように機能しているのか。

東京、大手町、労働省の三階、政策課の中と聞いてドアをあけると、中は普通の事務室だった。相談の大部分が電話とのことで特に窓口はなく、担当者三人が本職（労働政策の立案）のかたわら応答しているとのこと。

「四十九年二月の開設当時は月間二、三百件で盛況だったが今は七、八十件の横ばい。相談内容はほとんどが労働条件や賃金（時間外労働に割増しがつかない、倒産で賃金不払い等）。自分の名を名乗らない人が多く、自分の考えをまとめる参考程度にしているよう」

「三人の窓口が即答できない問題は、全国九人の相談員が回答する。統計は相談員が関与したものについてだけとっているので全数の動向はわからないが、数値に出るもののうち二〇%が女性からの質問——といっても夫の代質うも含まれており、婦人労働に関するものは概して少ない……」

と、五十一年度の統計表をひろげながらの説明。その統計表のコピーは部外秘とのことなので、二十項目ほどの一つ、「婦人労働」の欄を横目でチラチラ見ると、一一九月は零、十月二件、十一月三件（十二月は未統計）と、きわだって少ない。「初任給格差に始まり、あらゆる面での女性差別

は周知の事実。なぜこんなに少ないのでしょうか」と、〈あごろ〉15号、特集「職場の中の女性差別」を差出して追ると、「全雇用者の三分の一は女子ですから、三三%はあってもいいはずですね」と、善良そうな官僚氏は困惑の表情になった。

比較の実効をあげているのは定年差別の是正で数多い勝訴がモノを言っている。一般に本省では実効をあげるほどの指導はむずかしいので、官轄の労働基準局や職安に紹介する。具体的な資料がないと相談に応じにくいから、就業規則や給料明細表などを持ってきてほしい。職安のような公的機関を通じて就労すれば、募集条件との相違などは、すぐ是正される。初任給格差をふくめて男女賃金格差は、同一労働同一賃金の原則上、指導の対象となり得るのだが、問題提起する人が少ない。もともと提起されても労働内容が同一という立証はむずかしいかもしれない——という。

駆け込み寺への幻想がありすぎたためか、「利用者が少ないのですね」とがっかりして四階の婦人労働課でボヤクと、「そうなのよ、婦人少年室でも少ない、女は相談もしない」と、半ばあきらめた声が返って来た。件数百例を超せば一つの「問題」として「政策」に反映されるであろうに。新卒者全員が「初任給格差」からでも持ち込むなど目のさめるような利用法はないものかと、寒風にさらされながら帰路の思いにひたった。（S）

## ●お茶の水女子大学 「女性文化資料館」

お茶の水女子大学「百年史」編集をきっかけに開設された、「女性文化資料館」を訪ねた。場所は東京大塚のお茶の水女子大学の中。構内の地図に載っていないので、のっけからまごついてしまったが、それも道理で、現在は図書館内に間借り

中。カードボックスのあるへやは、あごろ読書室の半分といどのスペース。本があるのは、図書館の閲覧室の片すみといった状態である。聞くところによると、文部省から認可されたのが一昨年の四月ということもあって、まだ準備期間中として位置づけているそう。職員も、実際に活動しているのは、館かおるさんという若い女性ひとりだけ。実務に広報に、彼女にかかる負担ははかり知れないものがある。

現在の蔵書は、和、洋書、雑誌類を含めて約千五百冊。女子教育の名門校の付属機関だけあって、女子教育関係の資料はかなり充実しているが、分類すみの書籍は、まだスチール製のブックスタンド二つ分である。まず資料を充実させて、目録を発行することが当面の目標だそうで、年間予算が約二百万円あるが、規則も図書館に準ずるとあって、会計手続きがたいへんめんどろであるらしい。特にミニコミ誌は、今のところ寄贈に頼らざるを得ないそう。貸出は、図書館の規則によって禁止されているが、館さんに電話すれば、閲覧をはじめいろいろ便宜をはかってくれる。番号は03-943-3151（内線285）。

「運動体というより、資料中心の機関と考えていただきたいのです。でも、本当に貴重な資料という点では、まだまだ不十分ですから、多くの方々のご協力を仰ぎたいのです」と館さん。よく思うのだが、それが地味な仕事ということだけで、日の目を見ない例を、ここでも、まざまざと見せつけられた。この機関が名実ともに独立するのは、女たちの共通の念願であるはずだし、この大事業の達成に大いに協力したい。こんな大仕事を、ひとりの女性の両肩に負わせるのは、あまりにひどすぎるのではないだろうか。資料を提供できる人は、どしどし寄贈しよう。なお、閲覧は原則として、日、祭日、大学の定めた休日以外の毎日。午前十時から午後五時まで。（T）

東京都新宿区神楽坂6-72



和  
文  
タ  
イ  
プ  
い  
た  
し  
ま  
す

何でもご用命下さい  
格安にてうけたまわります

宮 前 (203)0338

企画・印刷・出版なら  
〈女の創造力の銀行〉

BOC へ

ミニコミ・同窓会誌・名簿・社内報・  
機関誌・パンフ・ポスター……  
創業14年のキャリアで製作します。  
女性からの注文は特価サービス。  
勤務先の仕事もどしどしご発注を！  
●ほかに翻訳・調査・スライド・映画  
などもいたします。

BOC 東京都新宿区新宿1-9-6  
TEL 354-3941 (代)

昨日の女は修習生に引当る裁判  
官教官の立場を向かい、我々の  
意見の女性に引当る本音と反論  
を繰り返していき。裁判官にこんな本音  
を吐き出すのは女性に引当るべきではない  
といふ。今もまた、建前をい  
つづけて、最初から、もう、もう、もう、  
弁護士 藤川千代子

試験の発表待ちの2ヶ月間、  
クッキー工場の短期パート  
に行った。幸いにも、坐るの仕  
事を与えられ、カシューナッツをま  
な板の上で刻んだ。それを小  
さなクッキーの上に1つずつ並べ  
たり、またチェリーをのせたり。  
その合間には1時間くらい、  
鉄板(クッキーの並んだ)を焼  
く機械の上に置いたり、またお  
菓子が並ぶベルトの流れ作業  
など、機械がいつも動いている  
ところで、焼く前のクッキーを整え  
たり、楽に働いた。狭い我が家  
の中で一人天下でいるよりは、いろ  
うな人を知ることまで、  
ヨカッタ。 小野崎

長い間産婦人科の医者に独占されてきた、  
私たちのからだを奪い返すために企画  
しました。

★毎月第2・第3・第4火曜夜(7時～)の  
三回で1コース

★スライド上映・スペキュラム(腔内鏡)  
の使い方・自分でやる乳ガンチェック・他

★参加希望の方はTELで予約を。

★参加費は3回通し1200円

★渋谷区代々木4-28-5 ☎370-6007  
東都レジデンス410 リブ新宿センターにて  
リブ新宿センター「女のからだ」ティーチンググループ

「女のからだ」  
連続ティーチン

今年こそ女のための女の

クリニックをつくるぞ！

迎春

「男が生命をかける司法界に女が進出する  
のは許せない」

この発言に、昨年はさながら日本中の女  
達の怒りが渦巻いたかにみえた。

それには、ひとりひとりの女達のふだんから  
の悩みや苦しみがこのためだ。

私共の事務所へ神戸のはたらく一女性か  
ら次のような年賀状を頂きました。

「男性本位の社会では一方的に誤解をさ  
れ、悪評を立てられ……弱い女ではどう  
にもならないことが多く、身の廻りから自由  
と平和がくずれてゆく感じをうけます。

それでもなんじかかんばっています。女  
性の権利はやはり女性でないと理解でき  
ないことがあります。今年もがんばるぞう

年頭にあたり、私共は共に悩み苦しんでい  
る女達へ、心から斗いの連帯を呼びかけ  
ます。

「踏みつけられて痛い」と泣くことよりも  
怒りをもちよう。

女が人間らしく生きてゆくための「権利  
のための斗争」に立ち上り、ねばり強く  
闘い抜こう。

合いことは、弱い女から強い女へ

170 豊島区東池袋一ノ四五、二一  
メザン金子二〇二号  
TEL 〇三(九八五)三三〇八九  
婦人協同法律事務所  
弁護士 金住典子

# 訴える



## 初任給格差と たたかう

高橋悦子

「工学部卒の女性現場にも出せない」と、受験の機会さえ与えられない中で、昨年四月、ようやくK社に入社できた私は、ただ仕事を覚えることに必死だった。

そんなとき、上司が、「君は工学部出身なのだから一生懸命仕事をすれば賃金も男性なみが可能だ」と言った。入社案内に際したうたわわっていた男女の賃金格差を、私自身あしき常識として容認してただけに、私は希望に燃えた。

入社六か月は見習い期間のようなもので、十月に社員としての基本給が決定する。その決定権は直属の上司ということだったので、上司の命に従い、黙々と働いた。

\*

そして十月。辞令の数字は旧来の女性賃金でしかなかった。なっとくがいけないので辞令を拒否した。まず取締役が「賃金を決めるのは君ではなく僕だ。君には男性なみの能力はない。いや、ないとは言わないが、足らない」と言った。能力——だれがどんなモノサシではかるのか。

次に総務の人が、「君のことは重役会でも十分問題になった。賃金は学歴で決まる。だがたまたま君は女性だった。この社会の労働力の商品価値の第一条件は男性であるということだ。これが会社の公式見解だ」と言った。明らかに性差別だ。彼は、「君はバイオニアなんだ。君自身が会社で認めさせるんだ。三月にも昇給のチャンスがある」と結んだ。

\*

私にとって女であるということはどうしようもないことだ。自分でなっとくいくまでたたかうが、組合はどのように対処するのか。私は組合三役に訴えた。

\*

「君だけの問題ではない。女性の低賃金そのものに問題があるのだから、時間をかけてたたかっているところ——これが回答だった。

\*

社内での女性集会所が開かれた。ところが女性側から出たのは「組合や男性はほんとうにやる気があるのか」という声だった。

その背景に三年前の闘争があった。現在の賃金体系は、職務職能給を改正して生活給としたものである。その時の闘争のスローガンは、「男女同賃金の生活給」だったが、結果は「男性のための生活給」となった。

その後、組合は闘争で切捨てた女性に負い目を持ち、女性は無力な組合に強い不信感を持った。そればかりではない。「長く会社

に勤めるつもりはないから、あなたみたいに言いきってしまえない」と言う女性もいた。結局、女性の統一行動はとれなかった。

その中で、「賃金は学歴で決まるんでしょ」という一言が、私を突き刺した。私自身、いかに人を差別していたか、思い知らされた。今まで、「自分はこの会社の主流といわれる学部を卒業し、男性と同じような職種についているのに、なぜ差別されなければならないのか」の一点でたたかっていたおのれの限界……。私一人の問題ではない。全女性の問題としてたたかうのだ、と決意を新たにした。

\*

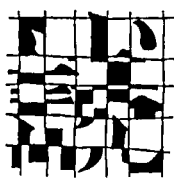
会社と組合の話し合いも何度か行なわれたが、ちががあかなかった。時間は経過し、会社側から辞令をつきつけられた。受け取るか、辞めるか、と。辞める気は全くなかった。一歩後退しても必ず勝ってみせると、辞令を受け取った。

組合の力の限界が見えたので、あ

ごら会員の金住典子さんを訪れた。金住さんは今まで相談した法律関係の方と同様、労働基準監督署に行くことを勧めて下さった。ただ一つ違っていたのは、「監督署が来ると真先に動揺するのは組合で、組合は力にならない」と他の人々は言ったのに、「最終的に、あなたが何人の、どれだけの人をつかむかが勝敗のキメになる。女性はもちろん、組合の力も最後まで離すな」と言われた。

\*

年が明けた。再度のチャンスと言われる三月を待っている。重役会議の決定は社内注目するところとなる。出た釘はあくまで叩くのか、それともうるさいのだけ拾い上げ、女性の分断をはかるのか。どちらにしても闘争が始まる。それまで社内の世論を高めよう、女たちとも組合とも話し合いを続け、力をつけた。ご意見、ご経験をお聞かせください。



## 読む

林郁著

## 風の声が聞こえる

読みながら少しずつメモをとって

いった読み終えてから溜息がで、それからメモを整理してつなぎあわせようとしたが、その努力を放棄した。女主人公の夫も姑も勤め先の出版社の社長もあまりにもステレオタイプな人間像だし、男主人公との出会いもメロドラマふうだ。大して意味のない人たちが少し首をだしてまたすぐひっこんでゆく。複雑な問題がつまりすぎて、女主人公のイメージが生き生きと浮かびあ

がってこないのが残念だ。しかし私は、ここまかなことをあげつらうつもりは今ない。この気の遠くなるようなテーマー障害者の問題、女の自立の問題——にあえて挑んだ著者の勇気を支えたい。内向の世代とか、シラケというところをよく聞く。しかし私は今一度文学がリアリズムにもどるべきだと考えている。もしプロレタリア文学というようなジャンルがあるのなら、

丸谷才一著

## 川のない街で

丸谷才一の描く女たちは、いつも

フェミニスト文学というものがあってもいいと思いつけてきた。いつか誰かに、レ・フェミニストならぬ、ラ・フェミニストを書いてもらいたい。(講談社 四六判二八八ページ 九百八十円) (貴)

どこかわたしと似ている。彼女たちが小市民的で、軽薄であるほど、わたしの共感も高まる。実際彼女たちは、なんと生き生きしていることか。かつ、こつけない、頭デッカチではない、でも決して卑なる肉体派ではない。

この作品のヒロイン雅子が、突然夫から離婚を迫られた無力な若妻という事情からくる手前勝手なカタルシスの共感とも言えようが、実は

「侮蔑」の作家の妻や「嘔吐」のロカンタンのそれと似通っていることを、見逃してはならない。平凡な主婦である雅子が、日常からはみ出していることはたしかなのだから。――それは出産を機にした夫への不信、団地の窓の下にひろがる埋立て地への不快感といった形で、彼女を日夜さいなんでいる。

狭いわくの中での生活を強いられることの多い女が、ひとたび自分の

# 聞く



抱いて

抱かれたがる

男たち

イアン・ブルマ

●田中絹代とモンロー

日本の文化はすべて母性的だと思えますが、母もの映画はその意味で象徴的です。アメリカのセックスシンボルは、すごくキリスト教的だと思う。マリアは人間とは違う、イメージだけです。マリリン・モンローなどはそういう意味で「人間」というよりシンボルで、イメージのほうが強いです。生活からは離れている

内側をのぞくことは、一つの前進であるかわりに、毒々しい恐怖でもある。その点雅子の意識は心もとなし、現実の女が変わらない限り、男の作家が描く女は相変わらず悲劇的なものかもしれないが、風俗小説に雅子のような女が現れたことは注目すべきではないかと思う。（文春文庫「年の残り」収録）（荷）

わけです。溝口健二の映画の田中絹代は日本の女優のイメージの代表だと思えます。彼女は母か売春婦か芸者を演じますが、マリリン・モンローは抽象的な女性のイメージのほか、隣のお嬢さんの役もする。西洋のセックスシンボルは矛盾した二つの面を持っていて。一方は純粋な隣人であり、将来の奥さん、もう一方は非常にセクシーであること。日本の場合は、一面は母であり、一面は売春婦のイメージです。エロスというのはいつでも二面を持っていると思いますが、日本の純粋さは「母」であり、向こうでは隣のお嬢さんであり奥さんです。

●「母の味」と一条さゆり

日本の男は小さいときから母の背中におぶわれて育ちますね。いつまでも母を探しているように思えます。

東京の遊ぶところ、バーの名前などでも「母の味」とか「ふるさと」とか母のイメージの名前があります

## 「新しい地平」編 愛と激動

時代を生きた女たち

十人の著者の、現代から未来へ向けての女性解放論とも言うおうか。

しかし、いずれも文学作品の中の「女」の対比であったり、イデオロギイ的研究論文の解説であったりするため、一読してあまりに醒めた客観性のみが残り、食い込んで来る痛みを感じられない。

ね。バーの女主人をママさんと呼ぶとか。西洋ではそういう発想はないのです。

「濡れた欲情」の一条さゆりも、男を包む母的なイメージですね。

ぼくですか？ 日本の男みたい、抱くと同時に抱かれたとは思われないな。

ストリップ？ おもしろいですね。文化的に。日本のストリップバーと観客の間にはコミュニケーションがあるんですね。アメリカのストリップは、ただ見せるだけです。日劇ミュージックホールなどはこれに近いけど。

●母もの映画の変化

昭和三十年以前と以後の日本映画は違いますね。溝口・成瀬は日本映画の昔の思想を代表している。彼らは女性の苦勞に対してすごく同情したが、それを美しいとした。苦勞すればするほど美しいという感じね。女性はいつても犠牲者でした。彼らは同情は示しても、どうすれば解決

が感じられない。こういう本に「感動」を期待する読者は少ないだろうが、あまりに乾いた読後感を味わったのは私だけではないだろう。

十九世紀後半から二十世紀前半にかけて実在した思想家・活動家、または文学の中の「英雄」が道標の如く登場するが、現在の日本の女たちやリブの女たちが抱えている問題の解決に、どれだけ力となりうるかは

できるかには全く興味を示さなかった。

いま女性を中心に据える監督、たとえば今村昌平の描く女性犠牲者ではなく、むしろ男が犠牲者ね。

●家族から出るのか戻るのか

日本の文化が母性的であるというのは、日本が農耕国だったことと家族制度にあると思います。

どこの文化にも女性の神様がいますが、西洋の女神はイメージのみ。

日本の宗教は農耕的。土のイメージがあり、性と母と土が同じですね。

農業では母（女性の役割）はいつも大事でした。男と同じように働いたので否定できなかった。

日本の家族制度はまだ社会の中心ですね。父母は子どもにいつまでも責任を持つ。いつでも家庭に戻る。これは非常に大きな違い。

●ピンアップと自立と

今の若い男、自分の部屋にピンアップありますね。ブレイボーイとか

疑問である。

しかし、女性解放思想史として、現代における女性解放の意味を根源的に問い直すための本としては評価したい。長い男社会が作り出した男の論理にとらわれることなく、埋もれていた女の価値体系を創り出し「新しい地平」に到達とする思想が集められている、という点についてである。（拓植書房 四六判二五三ページ 千二百円）（朋）

の。そんなのあっても、どういう女性が魅力的と聞くと、全く違った女性なんです。やさしいちょっとふとつてかわいい女。その矛盾はわがわが。多分彼ら自身わがわが。向こうではブリジットバルドーのピンアップがあったら、そういう女性と結婚したいという感じね。

日本の母に育てられた日本の男と、西洋の男の違い？

……広い意味で西洋の男のほうが独立しているし大人だと思。でも日本で独立している女性は、彼らよりもっと独立している。男は決まった道を行けば何とかなるけど、女は開かなければ独立できないから。将来の日本の母親像？

生活様式の変化とともに変わるかもしれない。団地住まいの夫婦は家族制度がないかもしれないから。でも十年前の東大闘争ではバリケードの中に母がキャラメルを投げたでしょう。いまはまだ変わってないと思

います……。 （在日一年）

わたしてもつくれみーす

あなたはできる、

このシリーズを（あこらミニ）に載せるのについて、実は激論しました。ふつうの女が編集なんか知っても……という意見です。でも——私は主張しました。ふつうの女だからこそ情報を整理し伝える技術を知ってほしい。今の世でみんなが知っていいことほど、むずかしいこと、エリートでなければできないこととされている。ミニコミでもPTAの会報でも、市のお知らせでも、ふつうの女がエプロンを縫うようにスイスイ作れたら、エライさんの考えだけが反映することはなくなる……と。——そして、私はこの一ページを獲得したのです。

やさしい編集1〈あこら実務シリーズ〉

ぶきょうな人バンザイノ

さて、獲得したのはいいけど、ハタと困りました。私はいま一応編集者と人には呼ばれているけど、まだわからないことだらけです。でも私が話し手になれる唯一の理由があるとしたら、私はぶきょうで、とても苦労して覚えたということ、だからどんな人でもその気さえあればいつか覚えられと信じられることでしょう。

本をつくりたり雑誌をつくるのは建築によく似ていますが、ビル造りはムリでも犬小屋や物置なら日曜大王でもできるでしょうし、その程度なら私でもガイドができるかもしれませんから……。

前置きが長すぎました。始めましょう。第一条は、「まず自分を信じよう」です。「アルルの女」の中にこんなセリフがあります。「自分で自分を美しく思うことよ。そうすれば美しくなる。」——日曜大王の基本も、「自分はできる」と思うことだそうです。そう思ったときはもう半分でできてい、と。

次は、「何をつくりたいのか」しつかり考えることです。犬小屋なのか、物置なのか、台所なのか……。これを十分考えると、どれくらいの広さが必要か、お金はどれくらい用意できるのか……。など、いろん

な条件が具体的にハッキリしてきます。編集とは、とても具体的な仕事なのです。

大きさを考える

読者の皆さんは、多分お金をできるだけ有効に使いたい方でしょう。できるだけ経済的にする方法をまず考えてみたいと思います。

家の場合を例にとると、タタミ一畳とか一間とか、標準の寸法があり、規格寸法外のものをつくりとうとするとペラボウな値段になりますね。本や雑誌も同じことです。

この〈あこらミニ〉は「よく見る大きさだな」という感じがすると思いますが、これは週刊誌と同じ大きさ、専門的のいうと

〈B5〉というサイズ、つまりB判の紙を四つ折りにした大きさです。

非常に大きっぱいという、紙のサイズはA列とB列の二種類が基本になっていきます。全紙（紙のまるごとの大きさ）は、Aが六二五×八八七センチ、Bが七六五×一〇八五センチ（だいたい模造紙の大きさ）です。仕上がり寸法はこれより小さくなり、A列1番八四一×一一八九、B列1番一〇三〇×一四五六です。これを二つに折った大きさが2、それをもう一度折った四つ折りが3、もう一度折ると4……というようになります。〈B5〉という、B判の紙を四回折った大きさ、つまりB全の十六分の一の大きさなのです（図参照）。

おおよその目安として、A1、B1は大きいポスター、A2、B2は一枚もののカレンダー、B3は新聞、B4はタブロイド判、B5は〈あこらミニ〉、A5は〈あこら〉、A6は文庫本……と覚えておけば、便利でしょう。

紙の取りつごうも考えて

大きさを考えるもう一つのキーマンはページ数です。ページ数をふやせばふやすほどたくさんのかみを入れられます。

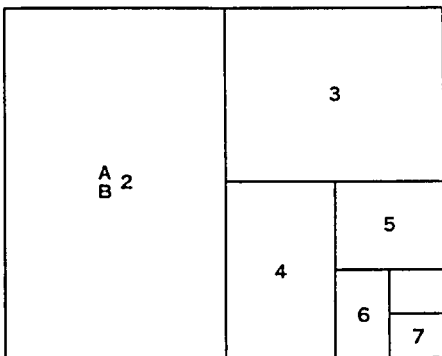
といって、やたらめっぽうページ数をふやすわけにはいきません。ヘンなふやし方をすると、とんでもないおカネがかかるうえに、でき上がったものがとてもヘンなことになる場合があるのです。

〈あこらミニ〉のページ数は十六ページですが、この十六という数字には大きな意味があります。記憶力のいい方は、〈あこらミニ〉が〈B5〉で、〈B5〉はB全判の十六分の一の大きさだということを覚えておいてでしょう。印刷は裏表に刷ります

から全紙一枚でB5なら三十二ページ刷れます。逆の言い方をすると、B5十六ページは、B半載（B2）の紙で一冊分できることになり、紙のムダが出ないのです。もしも十七ページとすると、一ページの紙が中途半端になるうえ、十七ページの裏になる十八ページは一ページ分まっ白というおかしなことになってしまいます。そのうえ印刷でも不経済なことになりますが、それはあとで説明しましょう。

いちばんだいじなこと

おカネの話を先にしてしまいましたが、ほんとうは一番大事なのはそこに住む人、入れるなかみのことです。あなたは何を訴えたいのか、何のために本をつくるのか、だれに読んでもらうのか。そこにビカビカしたいのちがあれば、たとえどんなにいいさいが悪くても、りっぱな本ではないかと思えます。（せがわ・ともこ）



（紙の仕上がり規格と判型）ワク内いっばい大きさがA B列各一冊です。

# 切抜きから

1976.12.1→1977.1.5

母子心中・子殺しゼロ。  
生き生きた女の記事ばかり。  
その日を目指して切抜きます。

## 変わる・変える

研修も男女平等に

大阪税関が新採用の職員研修

に男子は九か月間、女子は約十日間と大幅な差をつけているのは男女差別だと全税関労組大阪支部組合員約百人は総評。大阪人事院に改善勧告の要求書を出した。  
(12・1朝日)

「白い杖の希い」出版

中途失明者の福沢美和(四九)さん。盲人と暗眼者が理解しあうための「ひとと社会」の活動を通じて、「盲人の理解」と主婦らの手助けで七年がかりで書き上げた。  
(12・2朝日)

選挙違反を監視・摘発

理想選挙推進市民の会(市川房枝代表幹事)が中心となって開設した「総選挙情報有権者センター」は公示からの十七日間、北海道から沖縄までの三十一都道府県から寄せられた百二件の違反通報を整理し、中間発表。提供された情報を選挙管理委や警察、候補者事務所などに連絡、確認を求めるなどして実

効をあげる。(12・3信濃毎日)

棄権やめ政治を養える一票を

理想選挙推進市民の会、日本

婦人有権者同盟が、渋谷駅前で

青空演説会。ロッキード事件の

影響で一般有権者の中に広がっ

ての政治不信や無関心を警

告、市川房枝さんらが「婦人の

一票でロッキード汚職候補を落

そう」と訴えた。(12・4朝日)

「婦人の地位向上」もテーマに

四日からの人権週間。テーマ

は「人権の共存」「部落差別の

解消」「婦人の地位向上」の三

つ。  
(12・5読売)

女性の進出でもって医療機関

医療機関で働く女性の数は多

い。労基法により女子の深夜労

働が禁じられているのに看護婦

は当然となっている。  
(12・8毎日)

全国地域福祉研究会議

全国社会福祉協議会主催で老

人・母子家庭・障害児の三分科

会を開催。老人分科会だけで三

会場に福祉関係者約三百人が集

まり、活発な討議。保健・医療

と福祉がバラバラな現状が浮き

彫りにされた。  
(12・9朝日)

創立九十年 婦人矯風会

創春問題などに息長く取り組ん

でいる同会は、新宿百人町の本

部で記念祝会。  
(12・9朝日)

人と住まいを考える主婦会議

家とは何か、環境とは何か、

主婦の立場から……という一民

間開発業者の呼びかけで発足、

三十七人に二千人が応募。  
(12・10朝日)

写真コンペに女性入賞

七十六年度全日本毎日写真コ

ンペストに、女性の応募者が入

賞。  
(12・11毎日)

来夏、東京で初の国際総会

婦人国際平和自由連盟

国連の外郭団体の一つである

婦人国際平和自由連盟が来年七

月三十日から東京で日本では初

の国際総会を開催。平和運動や

平等について相互の理解を深め

る。  
(12・13信濃毎日)

三年目のミニコミセンター

女の問題を考える情報センタ

ーを作ろうと札幌のリブたちが

「ひらひら」をスタートさせた

のが四十九年十二月。現在、喫

茶店の売上げでカバーするなど

して六人の女性が運営、約三百

種のミニコミを扱っている。  
(12・19北海道)

「化石の街」自費出版

カネミ油症被害者の実態を戯

曲「黒のレポート」で訴えた北

九州の主婦佐々木さんが第二作

の小説を発表。  
(12・21朝日)

「性差別を問います会」発足

男性も会員にまじえて婦人間

題を考える会が、京阪神地方を

中心に地道な活動を続けてい

る。  
(12・27読売)

政治づいた主婦たち

ことしほど政治に引きつけら

れた年はない。物価や教育、公

害などの問題で暮らしにくさ

が加速されたが、ロ事件でストレ

ーに政治に近づいた。選挙も決

してシラケ選挙ではなかった。

女性の投票率が高かったのはい

かに主婦たちが本当の政治を待

ち望んでいるかを示したと思

う。  
(12・30毎日)

ふえる奥様スチュワードス

スチュワードスは未婚と決ま

っていたが日航は四十九年十

月、全日空は五十年十二月から

既婚者を採用。日航の場合最初

の三月は九人だったが昨年末

は六十六人、今年は倍の百三十

人と急上昇。月に最低五泊は家

をあけるので、「それに理解を示

す亭主はそういい」とタカを

くくついていた担当者もびっく

り。  
(12・31朝日)

幕開けた「枯渇の時代」

あれもこれもから、あれかこ

れか、選択とケチケチの時代

へ。  
(1・1読売)

宝塚レビュー五十歳に

身長平均一六三、入学七・二

倍。再びブーム。(1・4読売)

開かれた家事へ

京都に残る「家事暦」による

と昔は男の家事分担もあり、男

の値打ちを子に教える機会にな

っていた。七七年はまず休日か

ら改革を。  
(1・5読売)

暮らし

ポリプロ食器で宣伝戦

消費者から安全性を追求され

ていた業界団体が安全性のPR

を始めた。消費者連盟は「企業が

自分たちの主張するのは自由

だが、私たちの運動を非合理的

だなどというのは妨害行為だ」と

強く反発。  
(12・1朝日)

欠陥商品に厳しき契約

人が欠陥商品だけがをしたり

死んだ場合、メーカーに手落ち

がなくとも損害賠償の責任を負

わせるという条約がヨーロッパ

会議(CEC)十八か国加盟で

採択された。日本でも国民生活

保護会の消費者保護部会が、欠

陥商品の被害は企業に無過失責

任を負わすべきだと提言をした

ばかり。内外から新しい消費者

保護の立法が促されている。  
(12・8朝日)

食品衛生調査会答申

製造の際の殺菌の仕方、食品

中の油の変質具合、容器の規

格、流通段階での保存方法まで

細かい基準をまとめ早川厚相に

答申し、速まきながらインスタ

ント食品などに初の安全基準が

実施されることになった。八月か

ら実施される。  
(12・16朝日)

化粧かぶれにご用心

「化粧品は皮膚を健康に保つも

のではなく、化粧品の中の酸化

防止剤や色素によって、かぶ

れ、黒皮膚病を起こす例が少な

くない」と、大阪大医学部皮膚

科、田代実医師が、日本消費者

連盟の公開講座で調査結果を発

表。  
(12・17中日)

ソーセージの着色料やめよ

安全食品連絡会(二十一)の消

費者団体が参加は、「ソーセー

ジのJAS(日本農林規格)は

着色料を認めないでほしい」と

農林大臣あてての要望書を提出

した。  
(12・23朝日)

くらしの相談この一年

商品による危害や危険の事例

がふえ、「吐き気がするかまぼ

こ」「指を切った中華ナベ」「子

供が死んだ折り畳み式防護さ

など、燃えだした電子ジャー」

など、消費者が身体・生命の被

害や不安を訴えたものが四九件

中二十件と、いままでの倍に。  
(12・26朝日)

調査から

わが子の結婚費用三百十九万

東京・大阪・名古屋の母六百

分、余暇三時間三十五分、テレ

ビ視聴時間(仕事をしながらも

含む)三時間三十三分。  
(12・1読売)

OL二人旅

倉敷市を訪れた三百五十人を

何を意味する離婚率増

離婚は財産折半

東京都人権擁護委員部が都

内女性四百五十三人を調査した

ところ、「婚前の各自の財産は

それぞれ固有の財産」に七五%

が賛成。結婚後の財産は「共

有」が六〇%。「夫の借金の穴

埋めをするのは当然」は三七%

しかなかった。  
(12・9読売)

女子就業者の九割が家事も

総理府の労働調査(十五歳以

上の男女三万八千人)による

で、女子就業者の九〇・七%ま

どが仕事以外に家事にもたずま

わり、しかしその六二・五%が

家事の中心となっている。女子

就業者は就業時間と家事時間を

合わせて週六〇・八時間も働い

ている。  
(12・13各紙)

創造性欠ける余暇利用

道が道内の主婦千二百人を面

接した婦人意識調査で道婦人団

体連絡協の調査データによると

一日の平均家事時間七時間十四

分、余暇三時間三十五分、テレ

ビ視聴時間(仕事をしながらも

含む)三時間三十三分。  
(12・19北海道)

何を意味する離婚率増

離婚は財産折半

東京都人権擁護委員部が都

内女性四百五十三人を調査した

ところ、「婚前の各自の財産は

それぞれ固有の財産」に七五%

が賛成。結婚後の財産は「共

有」が六〇%。「夫の借金の穴

埋めをするのは当然」は三七%

しかなかった。  
(12・9読売)

女子就業者の九割が家事も

総理府の労働調査(十五歳以

上の男女三万八千人)による

で、女子就業者の九〇・七%ま

どが仕事以外に家事にもたずま

わり、しかしその六二・五%が

家事の中心となっている。女子

就業者は就業時間と家事時間を

合わせて週六〇・八時間も働い

ている。  
(12・13各紙)

創造性欠ける余暇利用

道が道内の主婦千二百人を面

接した婦人意識調査で道婦人団

体連絡協の調査データによると

一日の平均家事時間七時間十四

分、余暇三時間三十五分、テレ

ビ視聴時間(仕事をしながらも





# 声・相談

政治感覚低すぎる農村女性  
近隣の三十人に選挙について  
たずねたら、ほとんどが「主人  
の支持する人に投票」と答え  
た。政治教育が必要。(石川県  
僧職の投書) (12・3読売)

宰相になってほしい人は  
小田実。日本人離れてスヶ  
ールが大きい。それにいま仕事  
ないらしいのよ。遊ばせておく  
のはもったいない。

## 事件と刑

夢も希望も忘れた婦人誌  
各誌とも晴れ着姿は美しいが  
中身がない。(1・3読売)

夫の浮気に妙手は？  
家族の入院で走り回っている  
うち夫が浮気をはじめてい  
がまんの良い妻になるべきか？  
(答)「小山い」と。妻の浮気  
は大悪、夫は甲斐性というの  
はまちがい。じつがまんは美徳  
ではない。ハデにさわぐとキキ  
メがある。(12・2読売)

妻に知れたと別れ話  
職場の上司に浮気の発見を理  
由に捨てられたが慰謝料は？  
(答)「平岩弓枝」 法律的には  
被害者は彼の妻、慰謝料はあり。  
男にも上等と下等がある。自分  
が上等になると人を見る目がで  
きるはず。(12・4読売)

妻を働かすにさめぬ夫  
借金を抱え息づまるのに、私  
の浮気が心配と働かせぬ夫  
(答)「ヘレン・ポッテル」 妻  
も人間だ、と頭の固い男にわか  
らせるのは野蛮人から作法を学  
ぼうとするようなもの。さっさ  
と就職してアランを巻き起こし

なさい。結婚生活という船は難  
破するかもしれないが……。  
夫を独占したいしゅうとめ  
二十二歳、結婚一年だが六十  
歳の義母のやきもちに悩む。  
(答)「平井富雄」 一種の三角  
関係です。「話し合い」と「別  
居」を思わず堂々と渡り合いな  
さい。妻としての「執念」が大  
事。(12・6読売)

「ねたみ殺人」十年の刑  
日頃いだいていたコンプレッ  
クスから隣に住む人気者の主婦  
をメッタ突きで殺害した主婦  
に懲役十年(求刑懲役十五年)  
の判決。(12・2毎日)

母・妻・三児が後追ひ心中  
三月前に病死した夫を追っ  
て。岡山。(12・2読売)

愛人をひき殺そう  
心変わりを怒って二十三歳の  
ホステスが男にアタック。重傷  
を負わせた。(12・3読売)

情事のじゃまとわが子殺し  
伊東市のホステス(三)が  
元恋人との間の実子(五つ)を。  
(12・4読売)

ルコぶる店長一人を児童福祉法  
違反で逮捕。(12・11毎日)

妻の別居で子殺し  
八か月の子の世話に困った父  
(二十九)が犯行、逃走一年余で  
つかまった。(12・15読売)

脳性小児マヒの二児道連れ  
大阪府の一家四人が、乗用車  
の中で排ガス自殺。子供二人の  
脳性小児マヒを苦にして。  
(12・18中日)

「育児書ママ」悲し  
品川で五階建マンションから  
赤ちゃんを抱いて飛び降りた。  
「専門書で調べたところ、子供  
の脳に障害があります」との遺  
書。専門科医は「首の座りが悪  
いからといって脳に障害がある  
というものではない」と「育児  
書ママ」に警告。(12・20毎日)

夫の「キック」で死ぬ  
夕食作りでソツツで大酒の妻  
に夫が腹股。(12・20読売)

女中扱いを怒って無理心中  
横浜で、主婦が殺込んだ家族  
全員に次々と切りつけ、自殺。  
「女中扱いにされるのに耐えら  
れない」と夫へ不満をもらして  
いたという。(12・23毎日)

女高生売春ふえる  
何の抵抗もなく売春に走る少  
女がふえた。「遊び型」の非行  
は増加の傾向。それも「女性進  
出」がめだつ。(12・24毎日)

二児道連れ心中する  
横浜市で育児に悩む若い母親  
が二歳と八か月の二児を道連れ  
に。(12・24朝日)

殺人……四割が親親関係  
殺人事件は横ばいだが、親子、  
夫婦、兄弟という肉身同士の殺  
人が激増し、全殺人事件中、四  
二・一%を占め、戦後の最高記  
録。家族関係の崩壊傾向を示し

た。(12・26朝日)

女性の事件急増  
ことしの道内検挙者のうち女  
性は四千八百三十人で、全体の  
二六%、十年前はわずか二・六  
%。全国平均の一八・六%に比  
べても異常に高く、北海道の特  
異現象。(12・26北海道)

母子、死を急ぐ  
不況の年の瀬、全国各地で親  
子心中の悲劇が相次ぎ、今年一  
年で五百件を超えかねない。不  
況時につきものだった生活苦心  
中は、育児ノイローゼ、身障児  
問題、家庭内不和に地位を譲つ  
た。核家族で父親に心労、高度  
経済成長の波の中で心や人の触  
れ合いは失われていったのか。  
(12・27朝日)

「離婚」事件がごとしもう一位  
裁判を起こしたのがお金のな  
い人のため費用を立て替える法  
律扶助協会の愛知県支部が、一  
年間に立て替えた件数は二百九  
十三件で、一番多かったのは、今  
年も「離婚」。(12・30中日)

副委員長に鄧穎超史  
中国の鄧穎超・故周恩来首相  
未亡人(党中央委員)は第四回  
全国人民代表大会常務委員会第  
三回会議の席上、華主席の提案  
で、副委員長への昇格を認めら  
れた。(12・1朝日)

二女性に民間ノール平和賞  
ノルウェー国民は流血の北ア  
イルランドで暴力の脅迫にも屈  
せず「平和のための女性行進」  
を組織させた二女性に一億円を  
贈って讃えた。(12・2読売)

これは、この二婦人がノーベ  
ル平和賞候補に入っていないこと  
を知ったノルウェーの一新聞が  
よびかけ、約三十の新聞の共鳴  
のもと十万人の民間人が拠金し  
たもの。(12・2朝日)

新語「ミズ」辞書に登場  
女性結婚すればミセス、離  
婚すればまたミスに戻ったりで  
不公平きわまると、ウーマンリ  
ブ運動家が唱え出した「MS  
(ミス)」は徐々に浸透、十一月  
には、暗れてオックスフォード  
英語辞典の増補版に仲間入り。  
(12・3日経)

米国に「働く女性の専門誌」  
「ワーキング・ウーマン」創  
刊。職業をもつ女性が三千八百  
万人を超えたのを目をつけたの  
が「ミズ」の女性経営者エリザ  
ベス・ハリスさん。働く女性の  
現実的な問題解決に役立つもの  
をめざすという。(12・14朝日)

西独では夫に虐待されている  
妻が意外に多い。離婚の場合  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

披露宴は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

被疑妻は紅茶とサンドだけ  
エジプト大統領末娘の結婚式  
は披露宴を最大行事とするエジ  
プトには極めて新しいものとな  
った。(1・4毎日)

## 海の外では

資料に其について考える 婦人問題総合誌〈あごろ〉		
1号●女が働くこと	¥200	〒200
2号●女性の進出のために	¥200	〒200
3号●主婦の解放	¥200	〒200
4号●何かしたい主婦	¥300	〒200
5号●運動を進めよう	¥350	〒200
6号●産む性としての女	¥380	〒200
7号●働く女と主婦の接点	¥430	〒200
8号●女と法	¥700	〒300
9号●女と教育	¥750	〒300
10号●国際婦人年世界会議	¥750	〒300
11号●国際婦人年国内会議	¥750	〒300
12号●女の記録	¥750	〒300
13号●職場の中の女性差別	¥750	〒300
14号●女と結婚(近刊)	¥750	〒300

## 〈女のつどい・女の講座〉

日	時	テ	マ	会	場
1月15日(土)	10:00~ 14:30~	新有権者の集い 〈日本婦人有権者同盟〉 ミュージカル「女の解放」 〈ドデカポー座〉		婦連会館 03(370)0238 信濃町・キリスト教友愛会 ホーキ星 03(341)9364	
16日(日)	18:00~	魔女コンサートをつくろう 〈ホーキ星〉		リブ新宿センター 03(370)6007	
18日(火)	19:00~	女のからだティーチン 〈P15 伝える/参照〉		神宮前区民会館 03(409)4565	
19日(水)	13:30~15:30 18:00~20:30 19:00~	ヨガと整体 (会費4回分 2,500円) 〈グループ・女のからだ〉 育児休業の現状と課題—奥山えみ子 (日教組婦人部長)〈婦人労働研究会〉 読書会「性とは何か」W・ライヒ 〈ホーキ星〉		渋谷勤労福祉会館 03(462)2511 ホーキ星	
20日(木)	13:00~16:00 13:30~16:00	化粧品のおくみ—西岡一 〈日本消費者連盟〉 プラスチック容器とBHT—遠藤英美 (都衛生研究所食品添加物課長)〈消費者センター〉		恵比須区民会館 03(461)3453 消費者センター武蔵野支所 0422(21)1861	
	18:30~	行動を起こす会・教育分科会		中島法律事務所 03(352)7010	
21日(金)	18:30~	女のかからせセミナー 妊娠・出産編—山田美津子 (会費1,000円、飲物付)		ホーキ星	
22日(土)	13:30~	国内行動計画における福祉問題を検討する 〈婦問懇・職場問題分科会〉		渋谷勤労福祉会館	
25日(火)	18:00~	山川菊栄氏の婦人解放の視点—菅谷直子 〈婦問懇・女性史分科会〉		文化服装学院出版局	
26日(水)	13:30~16:00	海外の消費者運動—野村かつ子 (消費者問題研究家) 〈消費者センター〉		消費者センター池袋支所 03(986)4421	
28日(金)	13:30~15:30 18:00~20:00 18:00~21:00 18:30~20:00	アメリカにおける日本婦人の生活と意識—天野正子 〈あごら東海〉 結婚と保育を考える 〈あごら北海道〉 「あごらミニ」合評会と新年会 〈あごら東京〉 顔合わせと「あごらミニ」「あごら15号」合評会 〈あごら九州〉		名古屋・勤労婦人センター 札幌クリスチャンセンター あごら読書室 03(354)9014 博多・都ホテル・ティールラウンジ	
28日(金)~30日(日)		女解放と健康の会・合宿 申込み ☎045(543)4860		富坂セミナーハウス	
29日(土)	13:30~	司法界の女性差別を告発する集会 〈行動を起こす会・定例会〉		千駄ヶ谷区民会館 03(402)7854	
30日(日)	13:00~17:00	私たちは医療の主体になりうるか—山田真 〈交流編集会議〉 (会費100円)		中野文化センター 03(383)1631	
31日(月)	18:30~21:00	身体・学校実行委員会・活元大—野口整体 (参加費300円)		神宮前区民会館	
2月2日(水)	18:15~20:15	婦人労働講座1 働く女性の歴史—小林巧 (日大教授) 〈都労働局〉 申込み締切り 1月24日 ☎(212)5111 内2719		都勤労福祉会館 03(552)9131	
4日(金)	18:15~20:15	婦人労働講座2 職業と家庭・保育をめぐる—広田寿子 (日女大教授)		都勤労福祉会館	
5日(土)	14:00~	中学校国語教科書における男女差別についての調査のまとめ 〈婦人問題懇談会 マスコミ 日常生活分科会〉		ホーキ星	
6日(日)	9:30~15:30	研究発表と討論「中高年からの生活設計」 〈日本有職婦人クラブ連合会〉		川口市友愛センター 0482(51)0101	
9日(水)	18:15~20:15	婦人労働講座3 母性保護を考えるI (法規)—田辺照子 (明大教授)		都勤労福祉会館	
16日(水)	18:15~20:15	婦人労働講座4 母性保護を考えるII (実情)—田辺照子		都勤労福祉会館	
18日(金)	18:15~20:15	婦人労働講座5 シンポジウム・これからの婦人労働—私はこう思う 樋口恵子、駒野陽子、松井やより		都勤労福祉会館	
19日(土)	13:30~	教育審議会答申の批判、公聴会の見解についての公開討論 〈家庭科の男女共修をすすめる会〉		婦連会館	

(この欄に掲載ご希望の方はハガキでお申し込みください。掲載無料—〒160 東京都新宿区新宿1-9-6〈あごらミニ〉編集部)

## 〈あごら可能性教室〉第2期は3月スタート

すべての女はゆたかな可能性を持つ——をモットーに  
初の試みとして開講した「あごら可能性教室」は、第一期の「コンシャスネス・レイジング」C R II心をひらく法」を十二月終了しました。三月から新メンバーで新コースに入ります。学びたいこと、伝えたいことをご連絡ください。現在C Rのほか、英語、仏語、開運相談、整体などの開講申し込みがあります。

**C R第一期を終わって** 河野貴代美

欧米でコンシャスネス・レイジング(C R)が女性解放のめざす意識改革の原動になっていることの紹介は多いと思う。

C Rは集まった人たちの性向や興味に応じて多様な型内容がある。非常に大ざっぱにいえば、既成の秩序、価値、生活様式などを洗い直して、女性が一人の人間として自由に生き生きと生きていけるよう、グループ討論を通して感覚、意識を変えていくこととする試みである。私自身、米国でウーマンズリブにかかわり、C Rにも参加してその効果を体験した。

日本に帰って、「あごら」からC Rグループを作ってみたいかといわれたとき、ちゅうちょする気持と、自分の経験を伝えたいという気持が半々だった。しかしまあものはやってみようではないか。

集まったメンバーは、年齢・職業・グループに対する期待など、それぞれ異なるが、最初の1か月はちぐはぐだった。リーダーとしての私自身が不安定で目標が定まらず、メンバーも何人かがぬけた。

結局、自分の生活歴を折線グラフに書いて話すことになった。やってみるとなかなかむずかしい。自分の生活してきた軌跡をもう一度見直し、客観化し、言葉にしていこうという作業は簡単ではない。その上、人前である程度自分をさらけださなければ、といった覚悟もいる。しかしだんだんお互いかわりあう、聞き上手、話し上手になった。自然にメンバーに対する愛情も芽ばえた。

これからは、グループの中では開かれていた自分をどのように家庭や職場や地域社会で生かしていくか、また「身内」の思いやりや理解をどのようにして「身内」外にもひろげていくか、宿題は大きい。その結果を自分にわかるにも「時」がいろいろ。(受講者の感想は次号に掲載)